

救急服仕様書

安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部

救急服仕様書

この仕様書は、安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部において調達する、救急服（冬用及び夏用）について定める。

上 衣

1 使用生地

【冬用】

	規 格	試 験 方 法
品 名	<KB85440>制電入りピッケ	
組 織	ピ ケ	JIS L 1096
混 紡 率	(表) ポリエステル 100% (裏) ポリエステル 70% 綿 30% ※生地全体の再生ポリエステル使用率85%	JIS L 1030
番 手	(経) 167dtex (緯) 33/2	JIS L 1096
密 度 (10cm間)	(経) 460本以上 (緯) 290本以上	JIS L 1096
引 張 強 さ	(経) 1400N以上 (緯) 700N以上	JIS L 1096 A法
重 量	205g/m ² 以上	JIS L 1096
色 相 色相(H) 明度(V) 彩度(C)	グレー(指定色) 8.5GY 6.8 1.1	JIS Z 8721 " "
寸法変化率	経、緯とも±2%以内	JIS L 1096 C又はD法
染色堅牢度	耐光 4級以上 洗濯(変) 4級以上 摩擦(乾) 4級以上	JIS L 0842 第3露光法 JIS L 0844 A-2号 JIS L 0849 II型
摩擦帯電電荷量	7μc/m ² 未満	JIS L 1094

【夏用】

	規 格	試験方法
品 名	<K85439>制電入りトロピカル	
組 織	平 織	JIS L 1096
混 紡 率	ポリエステル100% (うち再生ポリエステル90%)	JIS L 1030
番 手	(経) 167d/2 (緯) 167d/2	JIS L 1096
密 度 (10cm間)	(経) 210本以上 (緯) 190本以上	JIS L 1096
引 張 強 さ	(経) 1400N以上 (緯) 1300N以上	JIS L 1096 A法
重 量	175g/m ² 以上	JIS L 1096
色 相 色相(H) 明度(V) 彩度(C)	グレー(指定色) 7.4GY 6.8 1.6	JIS Z 8721 " "
寸法変化率	経、緯とも±2%以内	JIS L 1096 D法
染色堅牢度	耐光 4級以上 洗濯(変) 4級以上 摩擦(乾) 4級以上	JIS L 0842 第3露光法 JIS L 0844 A-2法 JIS L 0849 II型
摩擦帯電電荷量	7μc/m ² 未満	JIS L 1094 C法

1 に示す表生地以外を使用する場合は同質品とし、物性および色相ともに同質であることを証するために「入札」および「見積り合わせ」まえに現物見本・当本部指定の公的機関の証明書・原反産生産者の発行する出荷引受書を提出すること。色相については、前記書類を提出した上で、当本部にて目視による承認を得なければならない。

2 型 式

- (1) 上 衣 台衿付シャツカラー、比翼、両胸フラップ付アウトポケットとする。
- (2) その他 替衿付とする。

3 縫 製 (別紙1及び別紙2参照)

- (1) 各部の縫い合わせは優良で、縫い代が適当であり、トビ及びハズレがないこと。
 - (ア) 糸調子は、縫い目が優良で、縫い曲がりがないこと。

- (イ) 針数は、地縫い及びステッチとも、3cm間14針以上とする。
- (ウ) ボタン付けは、機械付けまたは手付けとする。
- (エ) 仕上げは、糸屑を取り、丁寧にプレス加工をすること。
- (2) 衿
 - (ア) 上衿の剣の長さは、約6.7cm(標準)とし、巾は背中心で約4.5cm(標準)とする。
 - (イ) 衿台巾は、背中心で約3.5cmとする。
- (3) 替 衿
 - (ア) 上衿の剣の長さは、約7.3cm(標準)とし、巾は背中心で約5cm(標準)とする。
 - (イ) 衿台巾は、背中心で約3.5cmとする。
- (4) 肩縫い ヨークで前身を挟み、縫い付ける。
- (5) 肩 章
 - (ア) 袖付けに挟み込み、衿側に穴かがりをし、ボタン止めとする。
 - (イ) 反射布を付ける。
- (6) 袖 付 インターロックまたは地縫いとし、裁ち目はオーバーロックを掛ける。
- (7) 袖・カフス
 - (ア) 袖は一枚布で地縫いとし、裁ち目はオーバーロックを掛ける。
 - (イ) 縫い目は、背ヨークと合わせ、左袖にペンポケットを付ける。
 - (ウ) [冬用]カフスは、巾約5.5cmとし、開きは裁ち目を利用し、ヒダを2本とする。
[夏用]カフスは、巾約5.5cm長さ23cm(標準)とし、開きは裁ち目を利用し、ヒダを2本とする。
 - (エ) [冬用]袖口開口部はファスナー付とし、袖口の開きは約17cm(標準)とする。
[夏用]袖口開口部はファスナー付とし、袖口の開きは約18cm(標準)とする。
- (8) 脇縫い インターロックまたは裁ち目は、オーバーロックで地縫いをする。
- (9) 胸ポケット
 - (ア) 左右胸部に、フラップ付きアウトポケットを付け、左ポケットにペンセクションを付ける。
 - (イ) フラップは、面ファスナー止めとする。
- (10) 前立て
 - (ア) フロントは比翼、ファスナー仕立てとし、4カ所面ファスナー止めとする。
 - (イ) 前立て幅は、約3.5cmとする。
- (11) ヨーク ヨーク巾は、背中心で約10cm(標準)とする。
- (12) タック 両胸ポケット下に、タックを付ける。
- (13) 背ヒダ
 - (ア) [冬用]ヨーク下、左右袖付けより約7.5cmの位置から裾まで約3cmのヒダをとる。
[夏用]ヨーク下、左右袖付けより約7.5cmの位置から下へ約20cmの位置までフラシとし、背裏にメッシュを縫い付ける。
 - (イ) ヨーク下約20cmから裾まで、押えミシン縫いとする。

(14) 裾 巾約 1.5cm の三つ折縫いとする。

(15) ネーム

(ア) 左胸ポケット雨蓋より上方に、2.5cm×4cm の個人名の名札を取り付ける。

ネームは共地に角ゴシック体で淡い灰色糸刺繍とし、マジック止めとする。

(イ) 個人名名札上方に所属ネーム「安房郡市消防本部」と、淡い灰色系で刺繍を施す。

刺繍巾は約 9.5cm でゴシック体とする。

(ウ) 救急救命士には所属ネーム「安房郡市消防本部」の上部に救急救命士章を面ファスナー止めで取り付ける。

(エ) 後面のヨークと左右背ヒダの間（ヨーク付近）に当本部が指定する文字を印刷する。

なお、文字体、大きさ、色、位置については当本部担当者と協議し決定とする。

(16) 階級章 階級章は、マジック止めとする。大きさは共に 2.5cm×4cm とする。

(17) 片 布

(ア) 背ヨーク裏中央部に取り付ける。

(イ) 号数の印字は、不減インキを使用する。

(18) 別途指示する救急隊員服貸与者には、右胸階級章取り付け位置上部に指定の面テープ（ループ面）を地縫いすること。

4 サイズ表[冬・夏兼用]

(単位:cm)

号 数	胸 囲	着 丈	肩 巾	袖 丈	首回り	中 胸
1	110	72	47	55.5	40	96
2	114	76	48	57.5	41	100
3	118	80	49	59.5	42	104
4	120	76	50	55.5	43	108
5	124	80	52	57.5	45	112
許容差	+2、-1	+2、-1	+1、-0.5	+1、-0.5	±0.5	+2、-1

ズボン

1 使用生地

【冬用】

	規 格	試 験 方 法
品 名	<EWSK-2>サキソニー	
組 織	綾 織	JIS L 1096
混 紡 率	毛 30% 再生ポリエステル 69.5% 制電繊維 0.5%	JIS L 1030
番 手	(経) 2 / 5 2 (緯) 2 / 5 2	JIS L 1096
密 度 (10cm間)	(経) 262本以上 (緯) 240本以上	JIS L 1096
引 張 強 さ	(経) 820N以上 (緯) 720N以上	JIS L 1096 A法
重 量	214g/m ² 以上	JIS L 1096
色 相 色相(H) 明度(V) 彩度(C)	グレー (指定色) N4.2 N4.2 N4.2	JIS Z 8721 " "
寸法変化率	経、緯とも±2%以内	JIS L 1096 C又はD法
染色堅牢度	耐光 4級以上 洗濯(変) 4級以上 摩擦(乾) 4級以上	JIS L 0842 第3露光法 JIS L 0844 A-2号 JIS L 0849 II型
摩擦帯電電荷量	7μc/m ² 未満	JIS L 1094 c法
加 工	撥水加工、ストレッチ	

【夏用】

	ズボン	試験方法
品名	<GWSK-2>トロピカル	
組織	平織	JIS L 1096
混紡率	毛 30% 再生ポリエステル 69.5% 制電繊維 0.5%	JIS L 1030
番手	(経) 2/40 (緯) 2/40	JIS L 1096
密度 (10cm間)	(経) 170本以上 (緯) 150本以上	JIS L 1096
引張強さ	(経) 680N以上 (緯) 530N以上	JIS L 1096 A法
重量	175g/m ² 以上	JIS L 1096
色相	グレー(指定色)	
色相(H)	N4.0	JIS Z 8721
明度(V)	N4.0	〃
彩度(C)	N4.0	〃
寸法変化率	経、緯とも±2%以内	JIS L 1096 D法
染色堅牢度	耐光 4級以上 洗濯(変) 4級以上 摩擦(乾) 4級以上	JIS L 0842 第3露光法 JIS L 0844 A-2法 JIS L 0849 II型
摩擦帯電電荷量	7μc/m ² 未満	JIS L 1094 C法
加工	撥水加工、ストレッチ	

1に示す表生地以外を使用する場合は同質品とし、物性および色相ともに同質であることを証するために「入札」および「見積り合わせ」まえに現物見本・当本部指定の公的機関の証明書・原反産産者の発行する出荷引受書を提出すること。色相については、前記書類を提出した上で、当本部にて目視による承認を得なければならない。

2 型式

裾シングル、両斜めポケット、後両腰アウトポケットとする。

腰は伸縮性を持つ機能を有するものとする。

3 縫製(別紙3参照)

(1) 各部の縫い合わせは優良で、縫い代が適当であり、トビ及びハズレがないこと。

- (ア) 糸調子は、縫い目が優良で、縫い曲がりがないこと。
 - (イ) 針数は、地縫い及びステッチとも、3cm間14針以上とする。
 - (ウ) ボタン付けは、機械付けまたは手付けとする。
 - (エ) 仕上げは、糸屑を取り、丁寧にプレス加工をすること。
- (2) タック 前左右各1本、外ヒダとする。
- (3) 腰ダーツ 後左右2本とし、後ろに倒す。
- (4) 前立て・天狗 鼻天狗前立ファスナー開き、ファスナー上部前かん付きとする。
- (5) 脇ポケット
- (ア) 左右各1個斜めポケットとし、向当布は脇縫目から約6cm以上とする。
 - (イ) ポケット口は約15cmとし、口の上下端とも閉止めとする。
- (6) 後ろポケット
- 左右各1個アウトポケットボックスヒダ付きとし、口巾約16cm、深さ約19cmとする。
- (7) 腰
- ウェスマン付とし、芯を入れファスナー上部に前カンを付け、巾3.5cmで後身頃中央で合わせ縫いをする。
- 腰帯は、脇縫いの箇所の後身側の腰帯下に前身側の腰帯が入るようにする。腰帯内部にゴムを入れ前身側、後身側が互いに引合い、左右各2.5cm以上腰廻りの拡張が出来るようにする。
- 表、腰裏共に3cmの縫い代を付ける。腰裏はマーベルト付とする。
- (8) バンド通し 5か所に、バンド通しを付ける。
- (9) シック 天狗裏地と続けて付ける。
- (10) 脇縫い 地縫い割り縫いとし、裁ち目はオーバーロック掛けとする。
- (11) 内股縫い 地縫い割り縫いとし、二重縫いまたは環縫いとし、裁ち目はオーバーロック掛けとする。
- (12) 片布 左脇ポケット裏に、指定のものを付ける。

4 サイズ表[冬・夏兼用]

(単位：cm)

号数	胸 囲	股 下	股 上	わたり幅
1	73	74cmを 基準として ±2cmと する	27.0	33.5
2	76		27.0	34.5
3	79		28.0	35.0
4	82		28.0	36.0
5	85		28.5	37.0
6	88		28.5	37.5
7	91		29.0	38.5
8	95		29.0	39.0
許容差	+2、-1	+2、-1	±0.5	±1

ベルト

1 使用材料

(1) バンド

材 質	ア 本体生地	中央部厚さ 2.0 mm	合成皮革製 C/101 (白)
	イ 中央生地	反射材厚さ 0.3 mm	(白)
	ウ 芯生地	厚さ 1.1 mm	不織布色 (白)

(2) 金具

材 質	ア バックル	ローラーバックル (署) マーク付き
	イ 鳩目	メッキ：クローム
	ウ 先金	メッキ：クローム

2 型 式

- (1) ベルト巾 33 mm
- (2) 両端 7 mm巾 下からの巻縫い
- (3) 反射材巾 19 mm
- (4) 帯長 1.0m 1.2m

その他

1 提出書類

(1) 原反出荷済証明書 1部

仕様生地について、落札業者は、紡績メーカーの出荷済証明書を提出すること。

(2) 品質証明書 1部

ア 品番、品名	キ 重量
イ 組織	ク 色相 (色相・明度・彩度、色差)
ウ 混紡率	ケ 寸法変化率
エ 番手	コ 染色堅牢度
オ 密度	サ 摩擦帯電電荷量
カ 引張強さ	シ 加工

2 採 寸

採寸は消防本部との協議の上、期日及び場所を指定して行うものとする。

3 検 査

消防本部員が立ち会いの上で行い、場所は当本部とする。

4 保 証

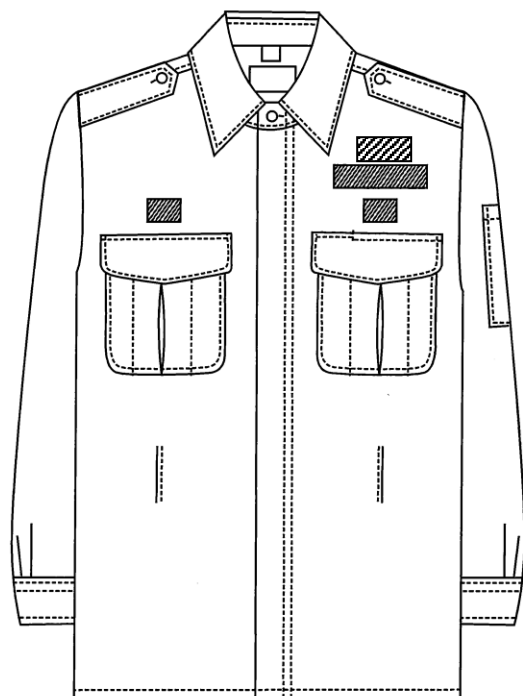
検査後であっても生地縫製上等による不良品は、供給業者が責任を持って修理又は交換する事。

遵 守 事 項

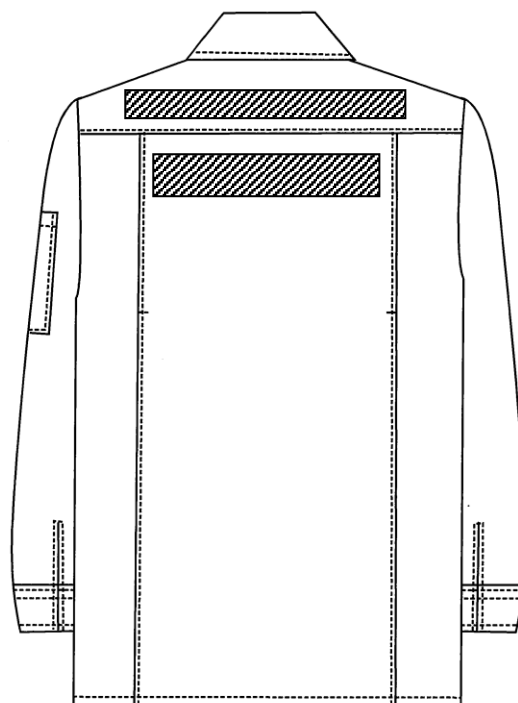
- 1 仕様および縫製その他細部について、必要のあるときまたは疑問が生じたときは、速やかに消防本部へ連絡し指示を受けること。
ただし、内容については、消防本部の解釈による。
- 2 仕様に明記または、指示がなくても縫製作業などにおいて、当然必要なことは良心的に行うこと。
- 3 受注者は、必ず縫製作業中、半製品の検査および指示を充分に行い、仕様書に適合するように努めること。
- 4 納品は糸くずなどを取り丁寧にプレス仕上げをし、1着ごとにそれぞれ紙袋またはナイロン袋に入れ、号数・所属・氏名を明記し、指定場所へ納入すること。

全 面 図

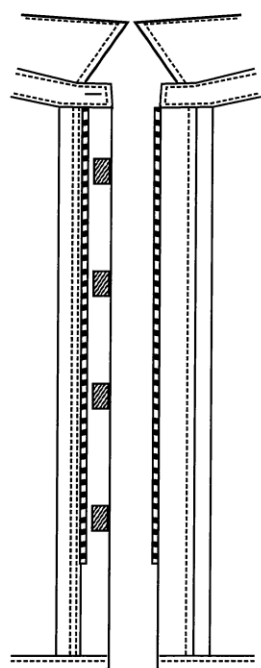
前 面



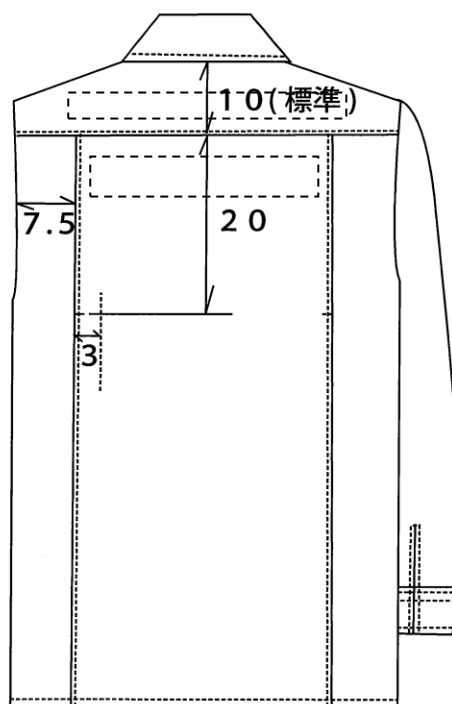
後 面

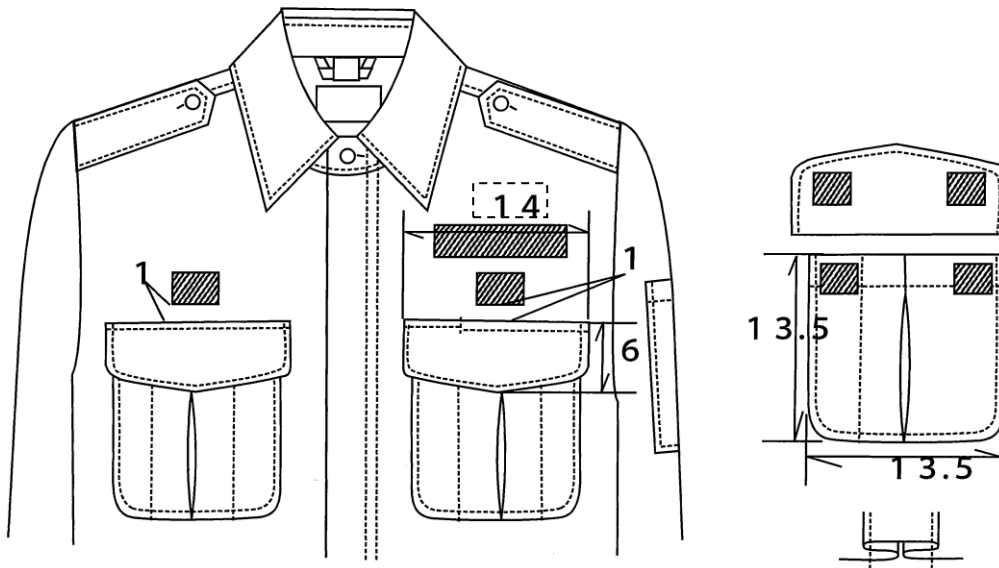


フロントファスナー／マジックテープ止め

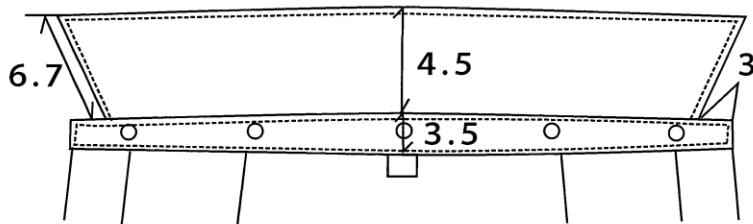


ヨーク／背ヒダ

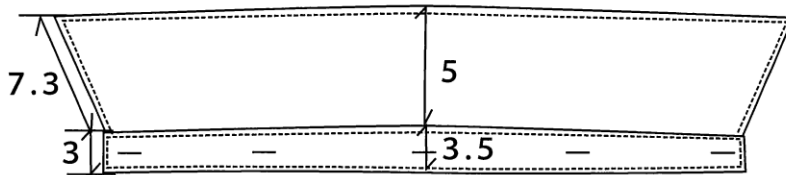




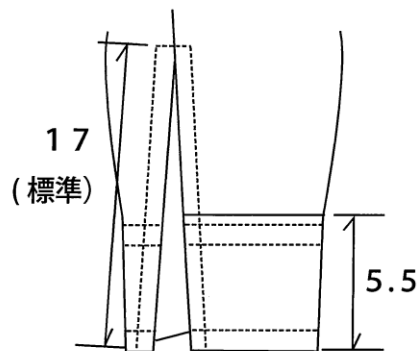
衿



替衿



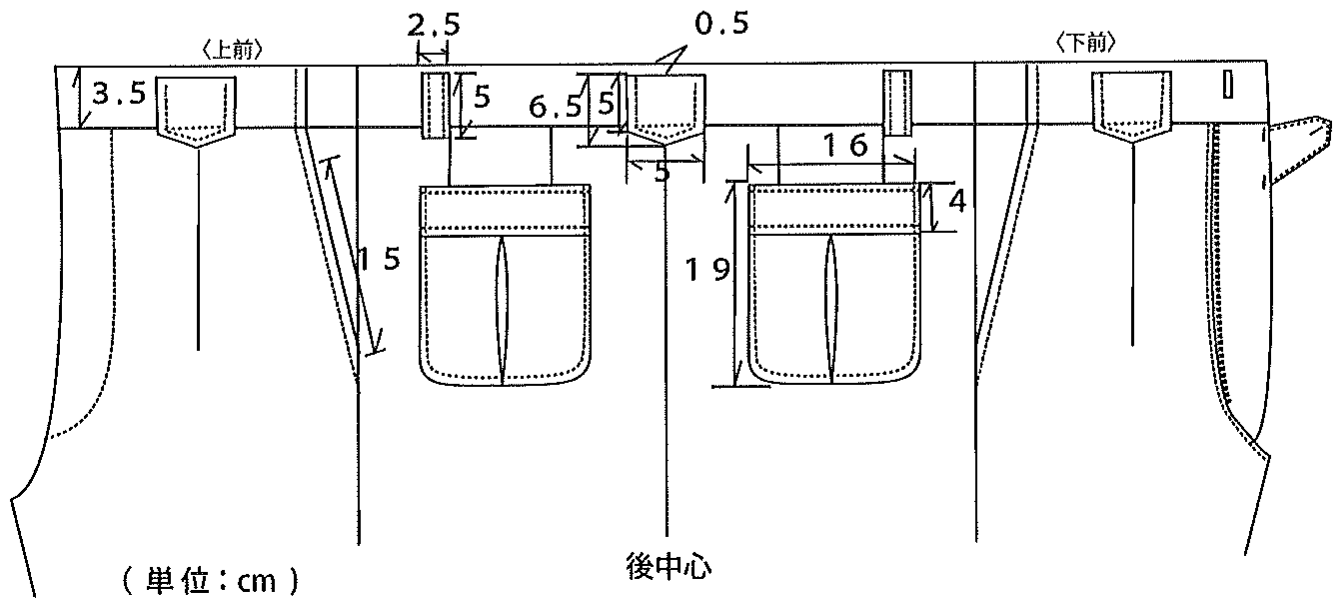
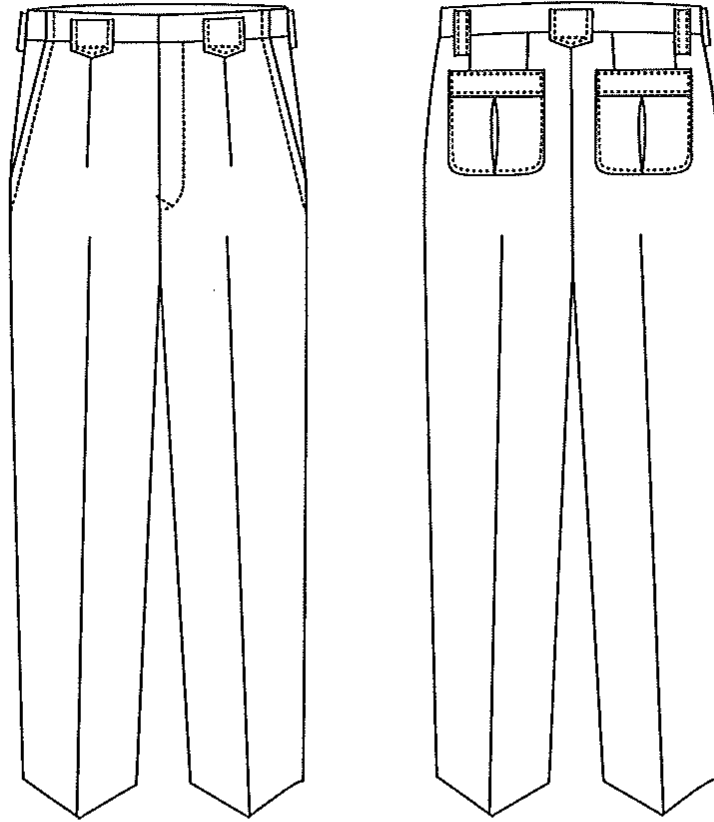
袖口、カフス



全 面 図

前 面

後 面



救急隊

